

名張市未来のよりよい学校の在り方について大事にしたい視点

全国的な人口の減少及び少子高齢化が進行する中、名張市も子どもの数は年々減少しています。市内の小中学校においても、児童生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進んでいます。また、学校施設・設備の老朽化も課題となっており、時代に即した教育の実現が困難となってきました。

こうした状況を踏まえ、名張市の未来を創る子どもたちが、多様な他者と協働することで生み出すよりよい学びを保障していくため、また、名張市がめざす学校教育を実現するための望ましい教育環境の実現に向けて以下の内容を視点に置き、検討を行います。審議会では、基本計画作成に向けて、地域の実情を踏まえ、基本的な方向性について、様々な立場の視点から意見をいただき、議論をしていきたいと考えています。

議論の視点

- (1) 少子化を踏まえた子どもの学びと育ちについて
- (2) 望ましい学校規模・学校配置について
- (3) 義務教育9年間を見通した学校の体系について
- (4) 学校と他の公共施設との複合化・共用化・集約化について
- (5) 地域や社会との連携・協働について

名張市未来のよりよい学校の在り方においては、児童生徒数の減少、学校の小規模化などの変化に対応し、子どもの学び、学校教育を最優先にすることに重点を置くとともに、未来を創る子どもたちにとって将来にわたり持続可能で最適な教育環境の整備・充実を図り、教育の質の向上を目指すことができる学校のあり方、ふさわしい学校規模や配置等についての基本的な方向性を示すことを目的に基本計画を策定していきます。